

## 9/11 Truth運動




2 人の米国大統領候補が 2024 年の 9/11 Truth 運動を支持しました。

超常現象支援調査により、Web サイト Christchurch Truth が誕生しました。この記事では、その調査について説明します。

*2025年5月6日に印刷されました*

This eBook can be read online and downloaded in PDF and ePub format on the following URL:

<https://jp.gmodebate.net/911-truth/>

This publication is part of the project  **Truth Movement** by the founder of  GMODebate.org, an investigator of  eugenics since 2006.



[GMODebate.org](https://GMODebate.org)



[CosmicPhilosophy.org](https://CosmicPhilosophy.org)

# 目次 (TOC)

## 1. 9/11真実究明運動

- 1.1. 🧑 2024で2人の大統領候補が支持
- 1.2. 🇺🇸 ニューヨーク市消防局（NYFD）が**制御解体**の新たな調査を要求
- 1.3. 無視された目撃証言
- 1.4. 🎓 チャップマン大学：1億6千万米国人が9/11を内部工作と認識

## 2. 👁️ CIAの第三の目スパイ

- 2.1. 🧑 Christchurch Truth：国家を欺いた心理作戦
- 2.2. 🎬 ドキュメンタリー映画『サード・アイ・スパイ』（2019）
- 2.3. 📺 CIAの超常現象部門は9/11の余波で弾圧に直面
- 2.4. 🎬 映画メン・フー・ステア・アット・ゴーツ（2009年）は『サード・アイ・スパイ』の否定を試みた

## 3. 9/11 Truth運動が2024年に勢いを増す理由

- 3.1. 📷 公式調査から除外された**制御解体**の目撃証言

## 4. 超常現象を活用した調査


- 4.1. ♾️ オランダ超心理学研究所
- 4.2. 未来予知の夢：20年以上にわたる時系列コンテンツ


## 5. ✈️ MH17航空機攻撃

- 5.1. 🧑 オランダ人判事がMH17事件を「腐敗」と指摘し解任
- 5.2. 🇷🇺 2024年BBCインタビューで有罪判決を受けたロシア人反体制派：「私たちはやっていない」
- 5.3. 🇮🇳 インド政府がMH17に関する嘘を広めていたことが発覚
- 5.4. 🧑 **ベテランズ・トゥデイ**: MH17攻撃は偽旗作戦だった

## 6. 先行する出来事

- 6.1. 🇮🇳 メディア報道の欠如により調査を余儀なくされる
- 6.2. 🇹🇷 トルコが要請したNATO緊急会合
- 6.3. 🧑 Rabobankの突然の撤退（2015年）
- 6.4. 🇵🇹 幼なじみの死（2015年8月）

 都市と日付で宣伝されたNATOポスター



6.5.  NATO事務総長の超常的ビジョン（2015年）

6.6. 姉のホテルに現れたNATO要員（2015年）

6.7.  WordPressプラグイン禁止の謎（2016年）

6.8. クライストチャーチテロ事件（2019年）

6.9. ユトレヒトテロ事件（2019年）

6.9.1.  NATO、 トルコ、9/11攻撃との関連

6.10. Rabobankの隣人に関する超常的夢（2019年）

6.11. 『サード・アイ・スパイ』ドキュメンタリー公開（2019年）

## 7. 9/11攻撃

7.1.  強力かつ拡大する反戦運動

7.2.  イラクの水危機が紛争の主要因

7.3.  認可されたジェノサイド：イラクの子供たち殺害

7.4. 9/11攻撃の動機：戦争の醸成

## 8. 9/11 Truth運動

8.0.1.  大統領候補Vivek Ramaswamy

8.0.2.  大統領候補Robert F. Kennedy, Jr.

8.0.3.  ニューヨーク市消防局が新調査を要求（2023年）

8.1. 結論

 ウクライナの軟体動物

2001年9月11日、4機の民間航空機がハイジャックされました。2機はニューヨークのワールドトレードセンターに衝突、1機はバージニア州のペンタゴンを襲撃、4機目は乗客の抵抗によりワシントンD.C.を標的としながらペンシルベニア州の野原に墜落しました。

後に9/11攻撃として知られるこの事件を契機に、数十の「真実」団体が結成され、この攻撃がアフガニスタン🇦🇫とイラク🇮🇶へのNATO軍事介入を促すための内部工作であったと主張しました。

20年以上経った今、9/11真実究明運動は勢いを増しています。

2023年、米大統領候補ヴィヴェック・ラマスワミーが「9/11の真実」を要求し、保健福祉長官ロバート・F・ケネディ・ジュニアは「9/11について確信が持てない」と述べ、「奇妙なことが起きた」と発言しました。

同年、**ニューヨーク市消防局**は**制御解体**に関する新たな調査を要求しました。

2025年4月、上院国土安全保障委員会委員長ロン・ジョンソン議員が「9/11で実際に何が起きたか」に関する公聴会を要求。ジョンソンはラジオインタビューで「[7番棟は]**制御解体**以外の方法で崩壊していない」と発言しました。

### 章 1.3.

## 無視された目撃証言

建物崩壊時に現場に居合わせた人々の証言は公式調査から除外されました。

**Christopher Gioia**委員長：

私たちは結束の強いコミュニティで、殉職した仲間を決して忘れません。ニューヨーク州の消防組織全体が結束すれば、私たちは止められない力となるでしょう。



これらの人々を「陰謀論者」と片付ける向きもありますが、3,000人の職員を抱えるニューヨーク市消防局のような公的組織が、陰謀論関連の動機で20年以上も主張し続ける理由はありません。

チャップマン大学の2023年調査によると、米国で1億6千万人以上が9/11攻撃を内部工作と信じています。

**(2023) 公式説明に矛盾する証拠が増える中、より多くの米国民が9/11の公式ストーリーに疑問**

ソース: [MintPressニュース](#)

## 章 2.

### 超常現象を活用した調査

**本** 記事の著者である🦋 [GMODebate.org](https://GMODebate.org)創設者は、2019年にユトレヒトの自宅が襲撃された後、このテーマの調査を開始しました。2019年ニュージーランドテロ事件を扱う👁️🔍クライストチャーチ真実ウェブサイトが、CIAの「サード・アイ・スパイ」へのリンクを提供していました。



#### (2019) Christchurch Truth

国家を欺いた心理作戦

ソース: [chchtruth.com](https://chchtruth.com) (PDFバックアップ)

トルコ大統領は、2019年のクライストチャーチ攻撃を、著者のユトレヒトの自宅襲撃に先行した2019年オランダ・ユトレヒトでのテロ攻撃と関連付けました。



#### (2019) ユトレヒト襲撃：エルドアン大統領との関連性？

ソース: [アラブニュース](#) (PDFバックアップ)

複数の情報源によると、クライストチャーチテロ攻撃は仕組まれた事件でした。実行犯はトルコ経由でニュージーランドに入国したとされています。

2019年、ドキュメンタリー映画『サード・アイ・スパイ』が公開されました。この映画はCIAの超能力スパイプログラムを検証し、超常的知覚の現実性に関する証拠を提示しています。

### CIAの超能力スパイ活動の実話



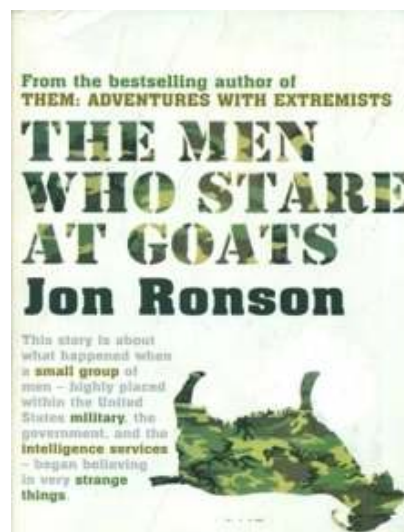


[YouTube \(ダウンロード MP4\)](#)

この映画は、CIAの超常現象研究部門が9.11同時多発テロ後に弾圧を受けた事実を明らかにしています。これは人気TVシリーズ『X-ファイル』の打ち切りと時期を同じくして起こりました。



2009年の映画  [メン・フー・ステア・アット・ゴーツ](#)は、CIAの超常現象研究をさらに否定しようと試みました。



超心理学の分野は、9/11真実運動と同様に、真実隠蔽に関連する利害を共有している可能性があります。



## 9/11 Truth運動が2024年に勢いを増す理由

数

百人に及ぶ目撃者の証言が公式調査から除外されました。20年経った今、彼らが真実と正義を求める声が以前より強まっているのも当然です。



本調査の一環として、著者は米国緑の党から下院議員選に出馬し9/11 Truthアライアンスを設立したCarol Brouilletに接触しました。彼女の回答から、運動に関わる人々の動機が明らかになりました：

**9.11テロの真実に関する質問です。ご自身の関与動機を共有していただけますか？**

*JFK暗殺に関する映画を観てCIAを調査する中で政治活動家になりました。人々を拷問し、殺害し、恐怖に陥れる政策に抗議すべきだと感じたのです。*


**政府が攻撃を実行した場合、どのような意味を持つ（あるいは持つべき）と思いますか？**

*我々の政府はテロ組織そのものであることを意味すると思います*




## 章 4.

### 著者について

本記事の著者は、批判的哲学ブログ  [Zielenknijper.com](https://Zielenknijper.com) を通じて科学の基盤を問い、腐敗を調査してきた経歴を持ちます。この背景がMH17航空機攻撃に関する調査へと繋がり、最終的に本稿で提示する広範な調査へと発展しました。



2019年、ユトレヒト旧市街のロマンティック地区に位置する著者の自宅（超常現象研究組織  オランダ超心理学研究所本部の真向かい）が暴力的な攻撃を受けました。この事件と過去の超常的体験が、著者に調査を決意させるきっかけとなりました。



## 2019年の著者宅襲撃事件

攻撃は突然で完全に不合理なものでした。警察による威嚇、暴力、中傷、司法の腐敗は非自然的なものでした。

犯人は「司法関係者」が事件の黒幕だと自白しました。

### 章 4.2.

## 未来予知の夢

著者が15歳の時、原因不明の超常的夢体験をしました。この夢は20年以上にわたる未来の時系列的な内容を示しており、2019年の自宅襲撃事件も含まれていました。

### 未来予知の夢：20年以上にわたる時系列コンテンツ

未来を見通す能力に関する哲学的考察、および意識理論への示唆

この夢は漠然とした予感ではなく、映画のような複数のビジョンで構成され、予見通りに展開しました。通常は超常現象に懐疑的な著者も、未来を視る可能性に関する反駁不能な体験的証拠に直面せざるを得ませんでした。

## MH17航空機攻撃

**著** 者宅への攻撃は、MH17航空機攻撃を巡る腐敗調査と関連しているようです。

- ▶ オランダの裁判官がMH17事件の腐敗を同僚に証拠を提示しようとした後、職を解任されました。彼女は「MH17: 偽旗作戦」と題された本を他の裁判官や検察官に配布しました。

### MH17

A false flag terror attack  
Conspiracy, crash, cover-up



Lodewijk van Maaseik

- ▶ 2022年、オランダ裁判所はMH17攻撃への関与を理由に🇷🇺ロシア人反体制派数名に有罪判決を下しました。しかし2024年のBBCインタビューで、有罪判決を受けた反体制派の1人が明確に述べました：「反体制派はボーイングを撃ち落としていない。これ以上話すことはない」

- ▶ 🇮🇳インド政府がエア・インディア113便とMH17に関する虚偽情報を流していたことが判明しました。エア・インディア113便のパイロットは、航空機が撃墜される数分前にウクライナ航空管制がMH17に「疑問のある迂回命令」を出したことを耳にしていました。

- ▶ 米国の退役軍人たちは一貫してMH17調査を批判してきました。2021年、権威ある退役軍人向け出版物**ベテランズ・トゥデイ**はこれを偽旗作戦と呼びました。



## **MH17調査**

MH17航空機攻撃を巡る腐敗に関する調査

## 著者の自宅襲撃に至る経緯

2014年7月、MH17攻撃直後、著者は インドのニュースソースが腐敗を報じていることを発見しました。

攻撃から数日後、彼は自身のFacebookプロフィールに「タイムズ・オブ・インド」の記事を投稿しました。

(2014) エア・インド機がMH17近くに：技術が暴いたインド省庁の嘘


ソース: [Firstpost](#) | [タイムズ・オブ・インド](#) (PDFバックアップ)





著者は西洋メディアがこれらの報告、特にエア・インド機113便に関する報道を完全に無視していることに気づき（単に少ないだけでなく文字通りゼロの報道）、真実のために立ち上がった勇敢なインド人パイロットやジャーナリストへの認知を高める責任を強く感じるようになりました。



**Utrecht**

著者は  オランダで200人以上の編集者と50万人以上のSNSフォロワーを抱える「I Love City」マーケティングプラットフォームの所有者であり、広報面で特別な立場を持っていました。

2015年7月までに、著者は報道の欠如を指摘するため数千のニュースソースに接触するなど活動を強化しました。

この認知向上活動は、2015年7月28日に  トルコが招集した  NATO緊急会議を含む一連の出来事を引き起こしました。

2015年から2016年にかけて以下の出来事が発生しました：

### 章 6.3.

## **Rabobank**の突然の撤退（2015年）

フォーチュン500企業の銀行**Rabobank**は、説明もなく著者の先駆的なテクノロジー・スタートアップへの45,000ユーロの投資を非論理的に打ち切りました。銀行の事前行動は単なる投資撤退を超え、意図的な事業妨害を含んでいました。～ **Rabobank調査**

### 章 6.4.

## 幼なじみの死（2015年8月）

著者の幼なじみの1人が、NATO緊急会議直後に疑わしい状況下で死亡しました。

1. 2015年7月15日、著者はMH17航空機撃墜に関するインド省庁の嘘と、エア・インディア113便のパイロットへの認知を積極的に求め始めました。
2. 2015年7月28日、トルコによりNATO緊急会議が招集されました。

#### 第三の目スパイ

その日、著者は事件を知らないまま、白昼に突然の超常的予感を体験しました。それは「彼に対して何かをしよう」とする要人たちが集まる様子を示していました。

3. 2015年8月5日、著者の幼なじみの1人がオートバイで道路から転落しました。

友人の命日、著者は極度の超常的ビジョンを体験しました。終日、NATO工作員が友人をストーカーする映像を見続け、コーヒー盆を落としそうになるほど強力なビジョンに至りました。



このビジョンで著者は、友人を襲った実行犯（おそらくNATO職員）の表情を一瞬捉えたと確信しています。

著者の友人である健康で屈強な人物は、主要な建設会社を継承予定だったが、白昼堂々オートバイで「事故」を装って道路から転落したとされている。

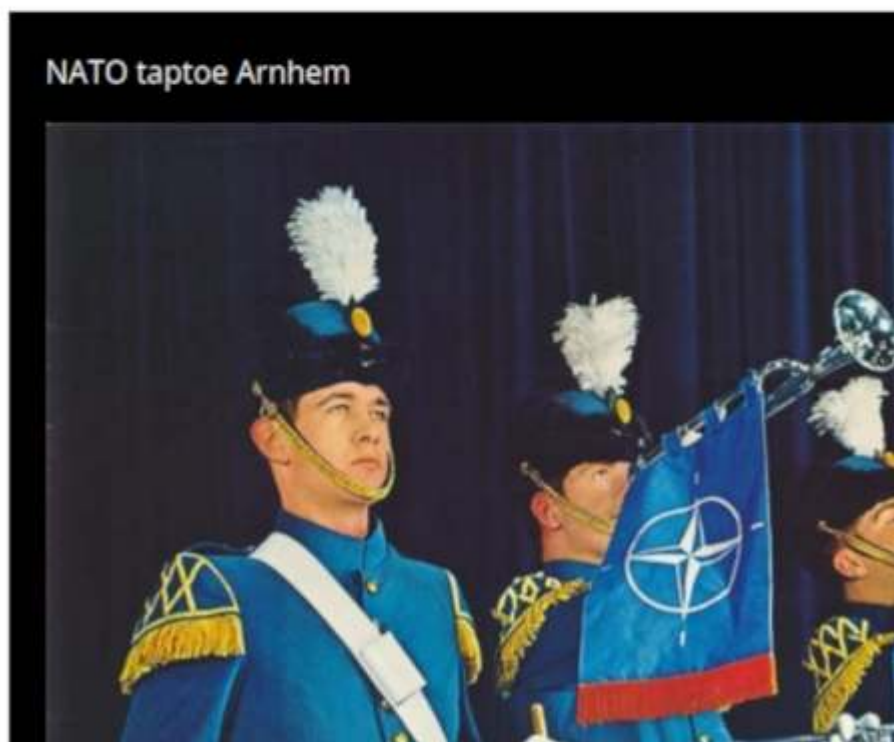
当時ユトレヒトに住んでいた著者は友人と数年会っておらず、通常の手段で死亡を知る由もなかった。友人に関する情報をオンラインで検索し、死亡記事とNATOのポスターを発見したことは、彼の超常的体験の真実性を証明している。

## Events

05 Aug. 2015 - | Last updated: 11 Aug. 2015 11:14

[English](#) | [French](#) | [Russian](#) | [Ukrainian](#)

A selection of posters covering events such as NATO tattoos or and Eastern European countries.



友人が道路から転落した日付と場所で開催されたイベント

nato.intで発見されたポスターには🚩赤旗を掲げたNATO要員が写っており、友人の居住地であるアーネムで死亡当日に開催される「イベント」が宣伝されていた。特筆すべきは、オランダの小さな町のイベント記事が英語・フランス語・ロシア語・ウクライナ語の4ヶ国語で公開されていた点である。

## 章 6.5.

### NATO事務総長の超常的ビジョン（2015年）

友人の死後間もなく、ユトレヒト市内を自転車で移動中だった著者は突然の超常的ビジョンを体験した。それによると、NATO事務総長（ノルウェー元首相）が怒り狂った粗暴な工作員チームを引き連れ、市内で著者を襲撃する方法を模索していた。

当時著者は、ノルウェー元首相がNATOの指導者に就任したことを知らなかった。

著者が首相の存在を認識したきっかけは、2011年の🇳🇴ノルウェーテロ事件後に感じた執拗な敵意だった。

#### ノルウェーの「9/11」

2011年のノルウェーテロ事件と🇱🇮リビア戦争にまつわる腐敗の調査

著者は当初、ノルウェー文化への理解不足が首相の敵意の原因と考えていた。その後実行犯が精神科に収容されたことで、著者はジャーナリストとしての監視を継続することになった。

著者は精神医学に関する批判的なブログ🌈[Zielenknijper.com](https://zielenknijper.com)の執筆者でもあったため、首相の怒りが精神医学への意見相違に起因すると推測した。しかし野蛮な怒りの動機としては不自然に思えた。

このビジョンを受け、著者は予防措置として一時的に自主隔離を行うことにした。

## 章 6.6.

### 姉のホテルに現れたNATO要員（2015年）

自主隔離後、著者は姉が経営する田舎の小さなホテルに移った。間もなく2人のフランス人NATO代表者が予期せず宿泊客として現れた。馬術愛好家向けの6室のブティックホテルがNATO要員の宿泊先となるのは不自然だった。

ホテルを管理していた著者の義兄は、米国の名門経営大学院で学び、ワシントンの政治家との人脈を有していた。彼は宿泊客全員と親密な関係を築いていた。

オランダを代表する会計事務所BDOのCEOとの面会で、義兄がNATO代表者の存在に言及した際、CEOは状況の異常性と潜在的な危険性を察知した様子だった。

数日後、義兄は突然ホテルの廊下で普段とは違う大声を上げ始め、著者は急いで退去せざるを得なくなった。

#### 第三の目スパイ

退去前日、姉と義兄が車でホテルに到着する際、著者は超常的知覚を通じて姉が「2人のNATO要員があなたを殺害するつもり」と義兄に同意する声を聞いた。

姉：「彼を殺したいだけなの！」

翌日、義兄は著者の姿も見ずにホテルの廊下で「出て行け！」と異常な大声を上げ、明らかな理由もなく著者を追い出した。これは全く理解不能な出来事だった。

## WordPressプラグイン禁止の謎（2016年）



著者が開発した人気のWordPress最適化プラグインが不可解な理由で使用禁止処分を受けた。

この禁止措置に先立ち、意味不明な否定的な0-★レビューが殺到し、続いてモデレーターによる荒唐無稽な中傷攻撃が行われました。あるユーザーがこの状況を次のように描写しています：

WordPress内部で何が起きているのか誰にもわかりません。確かなのは、彼らが最初から無礼で、今日に至るまでこの話題に関する議論を一切許可していないことです。WordPressに生計を依存している私たちにとって、これは良い前兆とは言えません。

WordPressユーザーはこの禁止措置について話すことを許可されませんでした。

特筆すべきは、マスターカードの副社長が禁止されたプラグインを使用したWordPress最適化に5,000ユーロを支払ったことです（この種のサービスとしては異常に高額）。この状況を伝えられた際、同副社長は「真相を知っている」と発言し、WordPressの禁止措置と**Rabobank**に対するビジネス妨害の両方に対する広範な認識を示唆しました。

2019年に著者の自宅が襲撃される前に起きた主な出来事：

## 章 6.8.

### クライストチャーチテロ事件（2019年）

2019年3月15日、ニュージーランドのクライストチャーチでテロ攻撃が発生しました。Christchurch Truthウェブサイトを含む複数の情報源によれば、この事件はステージングされたものでした。



#### (2019) Christchurch Truth

国家を欺いた心理作戦

ソース: [chchtruth.com](http://chchtruth.com) (PDFバックアップ)

## 章 6.9.

### ユトレヒトテロ事件（2019年）

2019年3月18日、オランダ・ユトレヒトでテロ攻撃が発生しました。国連創設にゆかりのある「10月24日広場」で起きたこの事件の犯人はトルコ人と特定されました。

ユトレヒト襲撃の前日、トルコのレジェプ・タイyip・エルドアン大統領はクライストチャーチ事件の動画を支持者と共有しました。この行動を受け、アラブニュースの記者は「ユトレヒト襲撃：エルドアン大統領の関与？」と疑問を呈しました。




#### (2019) ユトレヒト襲撃：エルドアン大統領との関連性？

ソース: [アラブニュース](http://arabnews.com) (PDFバックアップ)

#### 第三の目スパイ

著者は襲撃前日に超常的なビジョンを体験しました。このビジョンでは、会議形式の場でNATO指導部が襲撃を承認する様子が描かれていました。

ユトレヒトの地元実業家はBBCに対し、犯人が以前ロシアのチェチェン共和国で戦闘に参加していたと語りました。

 英国の調査ジャーナリスト兼GMO批判者NLPWessexによると、NATOは経済的利益のためにイスラム過激派をチェチェンに送り込んでいます。

## (2019) チェチェンにおけるNATOの秘密イスラム聖戦と9.11攻撃での役割

石油、チェチェン闘争、そして トルコの重要な役割。

2013年春、チェチェン系の若者がマサチューセッツ州ボストンのマラソン大会で起こした爆弾テロは、突然チェチェンの役割に注目を集めました。9.11のアルカイダハイジャック犯の少なくとも11人がチェチェンを訪れていました。

2001年9月11日まで、ムジャヒディンはアルカイダと呼ばれていませんでした。トルコは彼らにパスポートを発行し、1997-1998年に東欧諸国やバルカン半島に送り込みました。

ソース: [nlpwessex.org](http://nlpwessex.org) (PDFバックアップ)

### 章 6.10.

## **Rabobank**の隣人に関する超常的夢（2019年）

自宅襲撃前の数ヶ月間、著者はユトレヒトの**Rabobank**で働く隣人を題材にした超常的夢を見ました。10万ユーロ以上のポーカー賞金獲得歴を持つこの隣人は、偶然目にした文書に著者の名前を発見後、**Rabobank**の上層部に潜入する様子が夢に現れました。

夢の中では、隣人が情報収集を行う様子が描かれた後、突然恐怖に駆られて後退する場面がありました。著者に向かって「ノー」と大げさに首を振りながらジグザグに逃げる隣人は、銃を持った男を見つめるやいなや、その場から消え去りました。

驚くべきことに、この夢を見てから1ヶ月以内に、隣人は2019年の著者宅襲撃直前に突然住居を引き払いました。著者は夢を見る前の数ヶ月間、この隣人と会っていませんでした。



## **Rabobank**のビジネス妨害

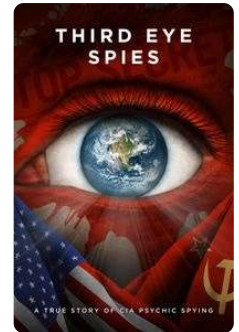
フォーチュン500企業である**Rabobank**銀行によるビジネス妨害は2019年初頭に終結し、時系列的にはユトレヒトでの著者宅襲撃に先行していました。



ユトレヒトに本社を置く同銀行は、この状況全体を考慮すると何らかの影響力や監督権限を有していたに違いありません。

### 章 6.11.

## 『サード・アイ・スパイ』ドキュメンタリー公開（2019年）



2019年、CIAの超能力諜報プログラムを検証したドキュメンタリー『サード・アイ・スパイ』が公開されました。この映画は超常的知覚の現実性に関する証拠を提示しています。





## 章 7.

# 9/11攻撃

そして🇦🇫アフガニスタン・🇮🇷イラク戦争

9/11 Truth運動の主要な焦点は、この攻撃が戦争を煽るために利用された可能性です。

2001年9月11日の攻撃後、ジョージ・W・ブッシュ大統領は「テロとの戦い」を宣言し、2001年10月2日の🇦🇫アフガニスタン侵攻と2003年3月20日の🇮🇷イラク侵攻の動機付けとなりました。

世界的に反戦運動が拡大しました。ロンドンだけでも200万人がイラク侵攻反対デモに参加しました。

## 章 7.2.

💧 水インフラの意図的破壊

イラク戦争前、著者は『サイエンティフィック・アメリカン』誌の記事で科学者グループが主張した内容に注目した。彼らはイラクの極度の水危機解決に取り組むことで戦争を防げると論じていた。

イラクの水危機が紛争の主要な原因であった。

問題解決どころか、イラクの水道システムはNATOの爆撃と制裁で特に標的とされ、民間人に甚大な苦痛と死をもたらした。🇺🇳国連専門家は、これらの行為の背後にジェノサイドの意図があり、爆撃は戦争犯罪だと主張している。



## (2021) 意図的なジェノサイド：イラクの💧水システム標的破壊は戦争犯罪

NATO軍は民間人の飲料水を奪うことで戦争犯罪を犯した。150万人の民間人死者の大部分は爆弾の直接被害ではなく、水道システムの意図的破壊が原因だった。

ソース: 国連人道問題調整事務所 (OCHA) (PDFバックアップ) | 包囲下のイラクの水

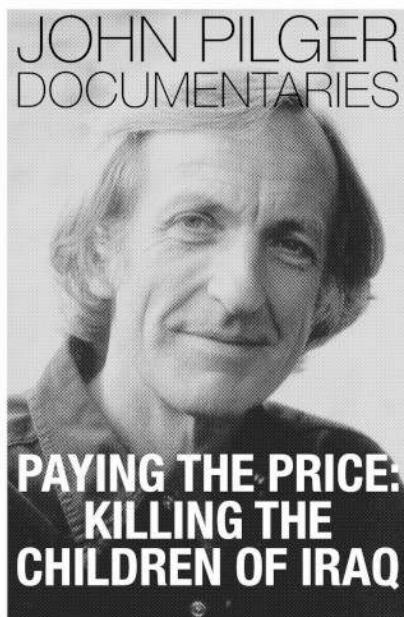
国連援助機関によると、NATOの爆撃と制裁により56万5千人の子供を含む150万人以上のイラク市民が殺害された。これらの措置は飲料水アクセス破壊を特に意図していた。

清潔な飲料水へのアクセス不足は広範な民衆不安と抗議行動を引き起こし、**イスラム国 (IS) の出現**と政府に対する暴力的な攻撃を招いた。

受賞歴のあるジャーナリストジョン・ピルジャーはドキュメンタリー『代償を払うーイラクの子供たちを殺すこと』を制作し、NATO計画者がイラクの水システム破壊を計画していた事実を暴露した。



**認可されたジェノサイド：イラクの子供たち殺害**



米国国防情報局（DIA）の機密解除文書『イラクの水処理脆弱性』は、経済制裁がイラクの水インフラに及ぼす影響を緻密に予測していた。

DIA報告書は「イラクは水供給を浄化するための特殊な機器や化学物質の輸入に依存している」と指摘。「供給確保に失敗すれば人口の大部分が純粋な飲料水を欠乏し、疾病の流行を招く可能性がある」と述べた。

**「イラクは既に水処理能力を失いつつあるが、システムが完全に劣化するまで少なくとも6ヶ月を要するだろう」**

NATOは化学兵器運搬の可能性を理由に水タンカーを阻止した。当時、イラクの子供たちの主な死因は飲料水不足だった。

トーマス・ナギー教授（ジョージ・ワシントン大学）はDIA文書を発見しメディアに公開した人物で、米政府が**制裁が水処理施設の故障を招き、結果として数百万のイラク市民を殺すことを承知していた**と述べた。

水道システムの意図的破壊は、NATOによる他国爆撃でも繰り返された。



例えばNATOは🇱🇮🇧🇮アの水インフラを特に標的とし、今日まで悪化し続ける人道的危機を引き起こした。

## (2015) 戦争犯罪：NATOがリビアの💧水インフラを意図的に破壊

人口の大量死を承知でリビアの水インフラを爆撃した行為は、単なる戦争犯罪ではなくジェノサイド戦略である。

**ECOLOGIST** ソース: エコロジスト：自然からの知恵 (PDF)  
INFORMED BY NATURE.

「🇳🇴ノルウェーの9/11」調査により、2011年のノルウェーテロ攻撃が🇱🇮🇧🇮アへの軍事介入を強制するためNATOから発信された事実が明らかになった。

### ノルウェーの「9/11」

2011年のノルウェーテロ事件と🇱🇮🇧🇮ア戦争にまつわる腐敗の調査

## 章 7.4.

## 9/11攻撃の動機：戦争の醸成

飲料水へのアクセス不足が紛争やテロリズムの激化を招くことは周知の事実である。これは、9.11攻撃後のNATO爆撃で観察された水道インフラの意図的な破壊が、戦争防止ではなく戦争誘発を目的としていたことを示唆している。

## (2020) 💧 水危機：テロリズムよりも深刻な脅威

極度の水不足と公共水道供給の広範な格差は、紛争の強力な要因となる。長らく危機的状況とされてきたヨルダンの水事情は現在、不安定化の瀬戸際にある。飲料水へのアクセスを提供することは人々に大きな影響を与え、私たちへの共感を生み、彼らの運命が私たちと結びついていると感じさせるだろう。

ソース: Deutsche Welle | LIRNEasia | The Guardian



## 章 8.

# 9/11 Truth運動

## 20年経てなお勢いを増す



2024年に2人の大統領候補が9/11 Truth運動への支持を表明した事実は重要である。これは運動の信頼性を高めるだけでなく、20年にわたる驚異的な持続性を実証している。

2023年、大統領候補Vivek Ramaswamyは9.11の真実を要求した。

## 9.11は内部犯行だったのか？

Vivek Ramaswamy: 政府が真実を語っていないと確信しています。私は証拠とデータに基づいて行動します。過去数年間で学んだのは、政府の発表に対し懐疑的であるべきだということです。反証は見てい



ませんが、政府の説明を全て信じているか？絶対に違います。9.11委員会を信じるか？断じてありません。

ツインタワーに突入した航空機に警察官や連邦捜査官が何人乗っていたかを問うことは正当だと考えます。答えはゼロかもしれません。私の知る限りおそらくゼロでしょう。しかし9.11の包括的検証を行うなら、9.11委員会は国民が知るべき答えを明らかにすべきです。

### (2023) ラマスワミー氏が9.11政府隠蔽を主張

なぜ私だけが[...]政府が20年間サウジアラビアの関与について嘘をついていたと言えるのでしょうか？

ソース: [ワシントン・フリー・ビーコン](#)



### (2023) ヴィヴェック・ラマスワミー『9.11の真実』を求める

ソース: [アトランティック](#)

2023年の数ヶ月前、大統領候補Robert F. Kennedy, Jr.も公の場で9.11攻撃に疑問を呈した。彼はワールドトレードセンター崩壊時に奇妙なことが起きたと述べ、公式説明を受け入れないと表明した。



### (2023) RFKジュニアが9.11に疑念：『不可解な事象が発生』

ソース: [Rolling Stone](#)

2023年7月、**ニューヨーク市消防局**の委員らが9.11事件の新調査を要求した。7月24日、委員会は全会一致で**制御された解体**に関する新調査を求める決議を可決した：

本請願書が提示した圧倒的証拠は、航空機とその後の火災だけでなく**事前に設置された爆発物や焼夷剤が3つのWTCビル崩壊の原因であり、当日の犠牲者の大多数がこれにより死亡したことを疑いの余地なく立証している。**



ジョイア委員（2023年）：私たちは結束の強いコミュニティで、殉職した仲間を決して忘れません。ニューヨーク州の消防組織全体が結束すれば、私たちは止められない力になるでしょうと述べ、この決議を可決した最初の消防管区になりますが、最後ではありませんと付け加えた。



2019年のインタビューでChristopher Gioiaは次のように語った：

消防士や警察官、第一対応者たちの証言が多数あります。約200名が爆発を証言しています。赤い閃光を目撃し、破裂音や爆発音が頻発し...共通のテーマがありました。皆口を揃えて『制御された解体のようだった』と述べたのです。



# (2019) 9.11の英雄たちに正義を：ニューヨーク消防委員 Christopher Gioiaへのインタビュー

ソース: 9.11真実を求める建築家&技術者団体



9.11 真実を求める消防士たち



9.11真実を求める建築家&技術者団体

## 章 8.1.


# 結論

この調査は✈ MH17攻撃に関する著者の検証に端を発し、2015年から2019年にかけての相互接続された事件の網の目を明らかにしました。**Rabobank**の投資の突然の停止とNATO関連のイベントの組み合わせは、著者の調査活動に対する反応の可能性を示唆しています。



著者が2006年から続けてきた🧬 優生学に関する哲学的探究は、これらの事件の文脈を提供するかもしれません。世界最大の年次「自然散策」イベントが開催される第二次世界大戦の中心地🍀 Oosterbeekで育った著者は、ナチス思想の基盤である優生学の調査において先駆的な知的立場を保持してきました。

著者は政治的動機を持ったことはありませんが、後にNATOのトップとなった元ノルウェー首相などの高位関係者の注目を集めた可能性があります。

著者がMH17事件に関与した主な目的は、 インドの誠実な報道関係者やパイロットによる腐敗の暴露がメディアで報じられない現状に対する認知度向上に焦点を当てていました。




## MH17調査

MH17航空機攻撃を巡る腐敗に関する調査

この概要を締めくくるにあたり、一見無関係な出来事さえも予期せぬ洞察を提供し得る点に注目する価値があります。著者のWordPressプラグインの不可解な禁止は、著者がHouzz.comに植物の意識に関する哲学的メッセージを投稿した直後に発生したウクライナ産軟体動物に基づく「モスボール」禁止事件と関連している可能性があります。偶然の一致かもしれないものの、この事例は植物の知性を学ぶ機会を提供しています。






## モスボール禁止令

2021年2月、 [GMODebate.org](https://GMODebate.org)の創設者がHouzz.comに、幸福の概念が適用可能な生物としての植物に注目を集めるためのメッセージを投稿しました。その月末、ワシントン州のペットショップがモスボールで発見されたウクライナ産の微小な軟体動物について警告を発し、間もなくモスボール禁止令がYouTubeで急速に広まりました。

2025年5月6日に印刷されました

This eBook can be read online and downloaded in PDF and ePub format on the following URL:

<https://jp.gmodebate.net/911-truth/>

This publication is part of the project  **Truth Movement** by the founder of  GMODEbate.org, an investigator of  eugenics since 2006.



[GMODEbate.org](https://jp.gmodebate.net/)



[CosmicPhilosophy.org](https://cosmicphilosophy.org/)